

一異動一

こうして、講師時代から含めて3校目の教員生活が始まりました。

前任校と違い、共学ではあるものの男子の割合が9割。
いろいろと面白い経験をしました。

ここでは、私が高校時代からやっていた放送部も創部しました。
さらに、教育相談のシステムがなかったので、相談室も作りました。

何もかもが順調に、穏やかな日々を送っていました。

勤続6年、卒業生も2回出し、全てが楽しく、平穏な日々が続いていました。

そんな3月のある日、校長室に呼ばれました。

これ、昔悪いことをしていたからなのか、呼び出して怖く感じるんですよね(笑)
「何か悪いことやったかな…叱られるのかな…」
なんて思いながら校長室に。

そこで言われたこと。

「4月から系列の女子校に異動してほしいんだ」

へっ？！

まさに青天の霹靂です。

私、この学校で何か悪いことしました？いられなくなるようなことしました？

女子校は以前務めていたから分かりますが、大変なんですよ…

しかも、今は1年生の担任なのに、あと2年見ていきたいのに、なんでこのタイミング？！

いろいろなことが頭を巡りました。

校長は、

「女子部から、是非船田先生が欲しいという強い要望が来ているんだよ。こちらとしても手放したくないんだが、向こうの校長の強い意向なので、是非この話を飲んでもらいたい。」

サラリーマンは気楽な稼業と～

なんて言えません。サラリーマンはNO！とは言えないのです。NOと言ったときは退職するとき。
悩んでもどうにもならないことですが悩みました。

「一晩考えさせてください。」

そう言って、帰りました。

一晩、妻ともたくさん話をして、異動を承諾することになりました。

求めてくれる人がいる。

求められている場所がある。

それだけで幸せではないですか！

ただ、心残りは、今見ている生徒たち・・・

できれば卒業まで一緒に過ごしたかったです。

春休みに入る前、最後の一週間、生徒に事実を打ち明けました。

そして、一週間を大切に過ごしたつもりです。

最後の最後で、絶えきれず号泣してしまいましたが(笑)

生徒たちも一緒に泣いてくれました。あの経験は私にとってかけがえのない、大切なものとなっています。同時に、こんな私でも、生徒に受け入れてもらえていたのだな、と感じました。

感謝してもしきれないくらい、我がクラスの息子・娘には感謝しています。

こうして、私は教員生活 4 校目に突入することになりました。

4 校目でもバリバリ楽しく行くぞ！！！！！！